

令和6年度（2024年度）学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- (1) 健やかな身体を育み、自他の人格を尊重し、人間としての在り方・生き方を自覚する。
- (2) 幅広い知識と教養を身に付け、自ら進んで問題を解決し、社会の変化に対応する。
- (3) 目指すべき進路を見据え職業観を形成し、よりよい社会の発展に寄与する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況の評価は浸透しつつあるが、生徒の資質・能力の向上と教員の授業改善につなげる取組が必要である。 ・デジタル採点システムの活用について、今後も研究を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用したりリモート授業についても、多様な生徒に対応する柔軟な取組を進めてもらいたい。 ・デジタル採点システムは学校における働き方改革の観点からも活用願いたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的に学習に取り組む態度」を適切に評価する手順や方策の構築を進める。 ・生徒の学びの機会の保障のために、ICTを活用した個別最適な学びを推進する。 ・デジタル採点システムは、今後も生徒の学びの向上につなげる効果的な運用を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自己と他者を尊重する心を育むとともに、「いじめ見逃しゼロ」をさらに推進していく必要がある。 ・SNSのトラブル等に対し、社会生活や集団生活でのマナーや情報モラルの向上を図る取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も限られた教員の過度な負担とならないよう、組織的な指導体制をお願いしたい。 ・多様な生徒に対して様々な対応があると思うが、手稲高校の校風を大事にして今後の学校づくりを進めて欲しい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回実施している学校生活アンケートを中心に生徒の状況を把握し、いじめ問題対策委員会において組織的に状況を確認し、さらに丁寧な対応を進める。 ・インターネット教室や薬物乱用防止教室などのほか、生徒の規範意識の向上を図る情報発信に取り組む。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より「情報Ⅰ」の講習を開設するなど共通テストに対応する取組を行ったが、今後も大学入学者選抜の動向を見据えた対応が必要である。 ・生徒の進路目標を実現するための「進路シラバス」に関する研究が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型選抜でも結果を出すなど、生徒の努力と教員の進路指導の賜物である。引き続き変化の時代に対応した質の高い進路指導をお願いしたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストの受験科目や配点等に注視しながら、よりよい進路指導体制を構築する。 ・教職員間での進路に関する情報共有や統一した指導のため、早い段階で進路指導に関する校内研修を開催する。 	
信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材や教育資源を活用した教育活動を推進し、学校説明会や学校だより、Webページ等による積極的な情報発信により、地域の学校としてのPRをさらに進めていくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の「インターンシップ」や2年次の「学び探究ゼミ」、3年次の「テーマ別研究」など魅力的な取組を行っているので、今後も工夫をしながら手稲高校の良さを広く周知して欲しい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・日程を変更して7月に実施した学校説明会は、本校の大きなPRの場となり好評だったので、今後も工夫を重ねて本校の取組を広く周知していきたい。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA役員会、学校評議員会において説明した。 ・保護者・地域には概要を学校だよりを通じて示した。 ・外部には本校ホームページ上に掲載した。 	